

「乳がん患者に対するタモキシフェン投与による脂肪肝発症リスクの評価の後ろ向き研究」
へのご協力のお願い

2005年4月1日から2015年12月31日までに当院でタモキシフェン（ノルバデックス錠もしくはタモキシフェン錠）を処方されており、上腹部もしくは胸部CT検査をお受けになられた女性の患者さんを対象として「乳がん患者に対するタモキシフェン投与による脂肪肝発症リスクの評価」の後ろ向き研究を検討させていただきたいと思います。研究は高知大学医学部倫理委員会の承認を得て行います。

<研究の目的>

タモキシフェン処方による脂肪肝へのリスクは既に指摘され、研究もおこなわれております。しかし、肝機能に対する検体検査結果で評価している研究が多く、CTによる画像判定の結果に基づいて評価する必要があります。そのため、CT画像による評価に基づき、投与時のBMIや検体検査などを利用してタモキシフェン処方による脂肪肝発症のリスク因子を網羅的に検討したいと考えております。

<研究の方法>

2005年4月1日から2015年12月31日までに当院でタモキシフェン（ノルバデックス錠もしくはタモキシフェン錠）を処方されており、上腹部もしくは胸部CT検査をお受けになられた女性の患者さんを対象とします。BMIや検体検査値について電子カルテから集積します。

<個人情報の保護>

今回の研究では、年齢、身長、体重、検査結果、CT画像など必要な医療情報のみを抽出し、個人を特定する情報は抽出しません。また電子カルテから抽出した情報はパスワードでロックされた媒体に保存します。そして本研究終了後、すべての情報は破棄します。

<お問い合わせ>

本研究に関してお問い合わせがありましたら、

研究責任者： 奥原 義保（高知大学医学部附属医学情報センター・教授）

電話：088-880-2212（直通） FAX：088-880-2214

までお願いいたします。